

大井中だより

第15号 令和3年3月13日 発行

<http://www.fujimino.ed.jp/ojhs>

心豊かでたくましい生徒



令和2年度 第74回卒業式 式辞

198名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、平成30年4月に本校に入学して以来3年間、勉強や生徒会活動、学校行事、そして、部活動に励み、今日ここに、義務教育をめでたく修了することができました。晴れて今日のよき日を迎え、改めて、卒業生一人一人の前途を、心からお祝いをいたします。

私は皆さんが入学した年に、本校に着任しましたので、3年間、様々な学校生活を共にすることができ、大変うれしく思っています。そして、皆さんが日々一生懸命頑張って成長していく姿をたくさん見ることができました。入学して間もなく行われた校外学習では、あいにくの雨の中、協力してカレーを作り、おいしく食べたのを覚えています。カレーを食べている間に雨も止み、とても良い天気の中でオリエンテーリングを楽しみ、仲間づくりに励みましたね。また、1、2年生の時の体育祭では、学級旗や応援パネルを作り、優勝に向かってクラスの団結を築きました。さらに、合唱祭では、素晴らしい歌声を披露し、クラスの絆を深めました。部活動でも、多くの実績を残し、大井中のよき伝統を引き継いでくれました。そんな皆さんとも、今日でお別れです。

皆さんは、卒業する最後の年を、新型コロナウイルスの感染防止の中で学校生活を送ることになり、おそらく生涯忘れ得ぬ年になることと思います。密を避け、マスクを常に着用するなど、学校生活も一変し、体育祭や合唱祭、校外学習などが中止となり、楽しい思い出をつくる機会が減ってしまった1年でした。しかし、制限が多い生活の中で大切にすることや気付いたこともいろいろあったと思います。そこで、それらについて三つお話しします。

一つめは「日常生活のありがたさ」です。臨時休校中は外にも出かけられず、友達にも会えないなど辛かったのではないのでしょうか。学校が再開され、皆に会えた時の喜びを忘れないでください。そして、家族や仲間と健康で元気に過ごせることへの感謝の気持ちも決して忘れないでください。

二つめは「助け合うことの大切さ」です。コロナ対策では、皆が互いを気遣い、マスクや手洗いを徹底するなど感染防止に努めました。特に、保健委員は、「コロナに負けない・撃退・近づけない」をスローガンに換気点検や手洗いの徹底などを行いました。また、体育委員は中止となった体育祭の代わりに、ミニ体育祭を企画し、実行してくれました。少ない種目でも精一杯取り組み、ソーラン節を披露するなど工夫も見られました。このように、互いに助け合い、楽しい思い出をつくろうと取り組む皆さんの姿は、とても頼もしく誇りに思いました。

三つめは「思いやりの心を持つこと」です。「思いやり」は、自分を大切にすると同時に他の人も尊重するという、人間尊重に通ずるもので、人が人として生きていく上で、最も基本となるものです。特に今年は、皆さんがコロナ感染者やその家族の辛さ、医療従事者の大変さを理解し、いつ誰が感染するかわからないという不安の中で、優しくするという心を持ってたと思います。これからも「人の痛みがわかる心」を大切に、さらに成長してください。

私は、この大井中学校で皆さんと出会えて本当に幸せでした。たくさん思い出をありがとうございました。これからの時代は、変化が激しくなることは間違いありません。しかし、どんな困難な時であっても、未来を生きる君たちが、大きな夢の実現に向け、力強く羽ばたくことを期待しています。頑張ってください。

最後になりましたが、ご列席の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様の前途を祝福し、心よりお祝い申し上げます。また、この3年間、本校の諸行事、諸活動に対しまして、多大なるご理解・ご協力をいただきましたことに深く感謝いたします。

卒業生の限りない前途を祝福し、式辞といたします。

令和3年3月13日

大井中学校 校長 榎本一夫

卒業式 送辞 在校生代表 K・A

厳しい寒さも和らぎ、木々のつぼみが花開こうとする季節になりました。このようなよき日に、大井中学校を卒業される先輩方、おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

春の足音が聞こえてくると、私にはよみがえる記憶があります。入学式です。これから始まる中学校生活、期待と同時に、少し不安を抱いていました。しかし、その不安は、先輩方の優しい言葉や笑顔のおかげで、すっかり消えてしまったのです。

その後の中学校生活においても、先輩方の優しさや明るさは、いつも私たちの憧れでした。「やはり先輩方には敵わないな」と感じる場面がたくさんありました。先輩方が率先して生徒会や専門委員会の活動に取り組む姿勢は、とても大人びていて、格好良かったです。

体育祭では、「優勝」という目標に向かって、ひたむきに競技に挑む先輩方が、とても輝いて見えました。その熱意とやる気に引っ張られたからこそ、私たちも団結して、精いっぱい頑張ることができたのだと思います。

合唱祭では、先輩方の素晴らしい歌声に圧倒されました。たくましい男声、美しい女声の絶妙なハーモニーが会場全体に響き渡り、一体感を感じました。

それらの準備の時も、きびきびとした先輩方の行動がとても印象に残っています。

私たちが先輩方に最もお世話になったのは、部活動の時間です。私たちのそばで優しく、時に厳しく、指導してくださいました。先輩方の全力で記録に挑戦する姿や、仲間と共に勝利をつかもうとする姿に、私たちはいつも励まされていました。「上手になりたい」「仲間と絆を結びたい」そして、また「先輩のようにになりたい」と思わずにはいられませんでした。

先輩方、私たちにいつも明るく、数多くのお手本を示してください、本当にありがとうございました。これからは大井中学校で、先輩方にもう会えないかと思うと、寂しくて心細くなります。私たちはまだまだ未熟ですが、先輩方が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、発展させていけるよう、精一杯努力していきたいと思います。

大井中学校での毎日の授業、様々な行事、部活動—それらすべてが先輩方にとって大切な思い出となっていることでしょう。残念ながら、今年度は、今まで当たり前のように行われていた行事も部活動も、コロナ禍で中止を余儀なくされました。これからもこんな日々が続くのもかもしれません。

そうだとしても、私たちみんな、一步を踏み出さなければ、新しい道を開くことはできない、と私は思います。勇気を出して一步踏み出せば、その一步がやがて道となり、未来となります。先輩方のその一步は、私たちの道しるべともなるので、どうか迷わず突き進んでください。歩みを止めないでください。たどり着いた先にきっと輝かしい未来が待っているはずですよ。

先輩方、様々な場面で本当にお世話になりました。在校生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも私たちの良きお手本でいてください。ご卒業おめでとうございます。

卒業式 答辞 卒業生代表 O・M

日差しが日一日と暖かさを増し、春の訪れを感じる季節となりました。今日のこのよき日に、私たちは大井中学校を卒業します。

三年前、私たちは少し大きい制服を身にまとい、中学校生活に対する希望と不安を胸に大井中の門をくぐりました。教室に案内される途中、視界に映る景色はとても輝いていて、「今日からここで三年間を過ごすのだな。」とうれしく思いました。

中学生になって初めての行事だった一年生の校外学習。親しくなったばかりの班の友達と協力してカレーを作りました。雨の中、カレーを混ぜるときに煙が目に入り痛い思いをしたり、顔が煤で黒くなったりしながらも、汗や涙を流し、協力して作ったカレーの味は特別で、とても美味しく感じられました。雨がやんだ後のレクリエーションも、班で助け合いながら取り組むことができました。

初めての体育祭。団長を中心の一つの目標に向かって団結している姿に感動しました。私たちは、団の団結を通して、先輩方と学年を超えた交流ができました。団での合同練習で、優しく的確なアドバイスをしてくださった先輩方に憧れ、必死についていこうと練習に励みました。本番では、今までの練習や仲間を信じ、心一つにして全力を尽くすことができました。

合唱祭では、金賞を目指し、朝早くから何回も練習しました。練習を重ねていくうちに心が一つになり、絆も深まりました。学年合唱の「COSMOS」は、みんなが一つになり、力強い歌声をホールに響かせることができましたと思います。クラス合唱では、不安と緊張でいっぱいになりましたが、練習してきた日々を思い出して、力いっぱい歌いました。歌い終わった後の達成感や充実感は今でも忘れられません。

二年生からは、大井中の中心となって活動する機会が増えました。部活動では、部をまとめることが大変でしたが友達と一緒に協力して活動することができました。また、アドバイスをしながら切磋琢磨して技術を高め合うことができました。委員会活動では、意見をまとめ、話し合いを発展させなければならぬので、最初は難しく、スムーズに進められませんでした。しかし、一緒に活動してきた仲間や新しい仲間の支えもあり、生徒会本部スロウガン「以信伝進〜笑顔・協力・きれいな環境〜」という方針の下、私たちらしい活動ができたと思います。

二年生になって一番楽しみにしていたのが修学旅行でした。東京見学の反省を活かし、より良い計画を練り上げることができたと思います。京都、奈良では歴史ある仏閣やその土地の伝統を身近で感じる事ができました。また、運転手さんのおかげで細かい情報まで知ることができてよかったです。座禅体験では、貴重な体験ができたのと同時に日本の文化を味わうことができました。また、夜遅くまで同じ部屋の友達と楽しく喋ったことも思い出の一つです。埼玉に帰るときは名残惜しいと感じましたが、早く思い出を家族に伝えたいという気持ちでいっぱいでした。

二年生もあと一か月で終わる。そんな時に突然、新型コロナウイルスにより休校になりました。クラスの友達や担任の先生との生活が急になくなり、次に学校に来るときはもう三年生になっているという状況に混乱しました。分散登校からスタートした三年生。久々に友達と会えた時は、心から嬉しく思いました。また、何かを普通にできることは本当に幸せなことなのだと改めて感じました。

楽しみにしていた中学校生活最後の行事がなくなりとても残念でしたが、ミニ体育祭は、思い出として深く心に刻まれています。クラスが一丸となり、大縄やダンス、ソーラン節を毎日練習しました。練習を重ねていくうちに、クラスで決めたスロウガンを達成しうと全員がまとまりました。クラスの団結力が高まって臨んだミニ体育祭は大成功だったと思います。

私たちの思い出は、これらの行事だけではありません。友達と一緒に笑ったり、相談をしたりしながら登下校をしたこと。教室で休み時間にはしゃぎあったこと。この日常が明日からはもうないと思うと、寂しさがこみ上げてきます。しかし、この大井中学校で過ごした三年間は大切な思い出として、心にとどまり続けるでしょう。

私たちの学年は、一つのことによって全力で取り組むことができるエネルギーにあふれた学年です。周りの環境は変化しても、自分の目標を見失わずに対応していきながら乗り越えて、行事や勉強にエネルギーを注ぎました。また、互いに支えあい、助け合える、優しさにあふれた学年でもありました。ささいなことでも相手を心配して声をかけてくれる友達の何気ない言葉や行動に何度も助けられ、その優しさが心の支えになりました。人との接触が制限されている今、生きていく中で一番大切な、人との関わりが減っています。この先、どうやっていくのかは、誰にもわかりません。不安もあると思います。それでも私たちに楽しいことも、つらいことも共に過ごしてきた仲間がいます。人とのつながりは減ってしまいましたが、心ではこの先もつながっています。

私たちはこの三年間で多くの人に支えられました。優しく、時には厳しく指導してくださった先生方。いつも私たちを一番に考えてくださり寄り添ってくれました。本当にありがとうございました。また、直接伝えることはできませんが、在校生の皆さん。三送会では、皆さんからの気持ちを受け止め、盛り上がる事ができ、新たな思い出を作ることができました。ありがとうございました。これからは、皆さんがこの歴史ある大井中学校をさらに発展させていってください。そして誰よりも私たちのことを一番近くで見守ってくれた家族。私たちが嬉しいときや、悲しいときは、いつも一緒に喜んでくれた友達。私たちが嬉しかったときや、悲しいときは、いつも一緒に喜んでくれた家族。私たちが嬉しかったときや、悲しいときは、いつも一緒に喜んでくれた家族。私たちが嬉しかったときや、悲しいときは、いつも一緒に喜んでくれた家族。私たちが嬉しかったときや、悲しいときは、いつも一緒に喜んでくれた家族。

仲間と別れ、これから私たちはそれぞれの道を歩みます。その途中、壁が立ちだることもあるでしょう。けれど、私たちは一人ではありません。近くで支えてくれる家族や先生方がいます。そしてかけがえのない仲間がいます。このことを胸に刻みながら、一歩ずつ未来に向かって力強く進みます。

最後に、大井中学校のさらなる発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念して答辞とさせていただきます。

3年生球技大会

3月3日に3年生の球技大会が行われました。県公立高校の入試も終わり、思いっきり楽しめたようです。今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、種目をサッカー・ドッジボール・バレーボールの3つにして校庭と体育館を使用して、密にならないように配慮しながら実施しました。

最後の仲間との楽しい交流ができたことでしょう。

対戦結果

種目	1位	2位
サッカー	4組	1組
ドッジボール	2組	1組
バレーボール	1組	3組



心のこもった3年生を送る会

3月5日に3年生を送る会が開催され、1, 2年生が3年生に感謝の気持ちを伝えました。生徒会役員と三送会実行委員が早くから準備を始め、体育館と3年教室の装飾は心のこもった素晴らしいものになりました。感染防止から全校生徒が体育館には入れませんので、1, 2年生は自分の学年の出し物以外は、同時中継された映像を教室で視聴する形になりました。

1年生は「はなみずき」の歌詞を手話で表現し、メッセージを伝えました。2年生は「大井中学校クイズ」で3年生と正解率を競いました。どちらの出し物もとても工夫されており、先輩方が築いた伝統を在校生がしっかり引き継いでいこうという気持ちができたとと思います。

3年生からは、前生徒会長の長田さんが感謝のメッセージを伝え、その後有志がコントをやって場を和ませてくれました。

短い時間でしたが、素晴らしい3年生を送る会になりました。



埼玉県優良生徒表彰

☆埼玉県優良生徒表彰（学業）：3年1組 O・Mさん

☆埼玉県産業教育振興会表彰：3年5組 N・Hさん

☆埼玉県体育優良生徒表彰：3年1組 S・Tさん

3年2組 S・Mさん

生徒・保護者アンケート結果

12月末に行った、生徒アンケート・保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。大変遅くなりましたが、結果を報告いたします。

生徒アンケートは、[そう思う、大体そう思う、あまりそう思わない、そう思わない]で回答し、保護者アンケートは、[そう思う、大体そう思う、あまりそう思わない、そう思わない、わからない]でご回答いただきました。ここに掲載した数値は、[そう思う、大体そう思う]を合計したものの割合(%)です。

生徒アンケート 結果

No.	質 問	1年生	2年生	3年生
1	私は、学校教育目標、学年目標、学級目標を知っている。	74	77	43
2	私は、学校が好きである。	75	91	83
3	私は、学校に仲が良い友達がいる。	99	100	97
4	私は、学校の決まりや約束を守っている。	95	98	98
5	私は、地域の活動（ボランティア等）に参加している。	14	12	23
6	先生たちは、わかりやすい授業をしている。	91	93	88
7	先生たちは、話し合い、発表、体験等がある授業をしている。	94	98	96
8	先生たちは、悩みや心配ごと等の相談にのってくれる。	90	92	89
9	先生たちは、いじめやトラブル等をきちんと指導している。	89	88	85
10	先生たちは、委員会・部活動等をきちんと指導している。	94	95	93

※地域活動への参加が低いですが、本年度は新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの地域イベントが中止となった結果です。感染症が収束しましたら、再び地域の皆様に生徒の参加をお願いしていきます。

保護者アンケート 結果

No.	質 問	1年生	2年生	3年生
1	学校教育目標や教育方針は、保護者や地域の声が反映されている。	59	60	59
2	教員は、わかりやすい授業をしている。	63	65	69
3	教員は、子供の可能性を伸ばそうとしている。	69	69	70
4	教員は、子供の悩みや心配ごと等の相談にのっている。	62	63	71
5	教員は、いじめやトラブル等をきちんと指導している。	62	60	65
6	教員は、委員会・部活動等をきちんと指導している。	85	79	82
7	教員は、子供の規範意識を指導している。	78	72	74
8	教員は、子供を適切に評価している。	80	73	72
9	学校は、学校だより、学年・学級通信、ホームページ等で情報発信し、保護者・地域と連携・協働している。	93	93	89
10	学校の施設・設備は、学習環境として整っている。	81	83	86

※学校教育目標や教育方針について、引き続きご意見をお寄せください。

※来年度から新学習指導要領が実施となり、ICT機器を積極的に活用した分かりやすい授業に努めます。

※いじめやトラブルの指導については、情報把握に努め、適切な指導に努めていきます。